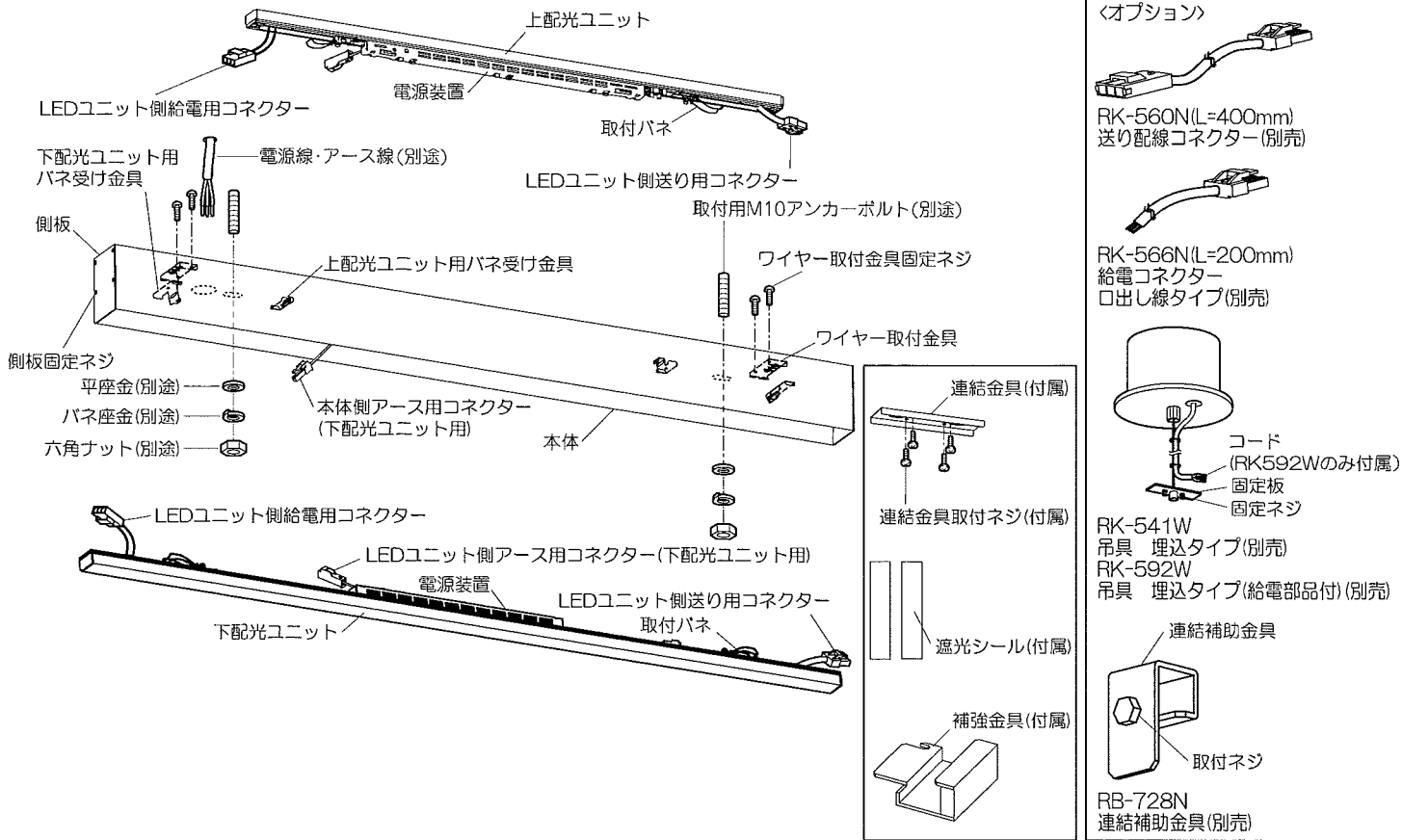


◆各部の名称

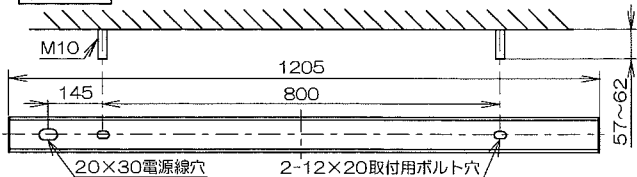


◆取付寸法

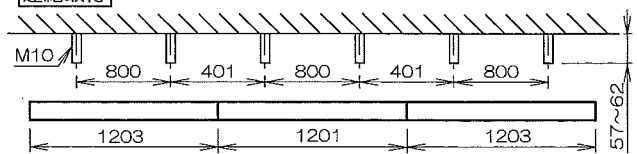
●ERK9993WA, ERK9993B (L1200タイプ)

■直付の場合

■単体取付

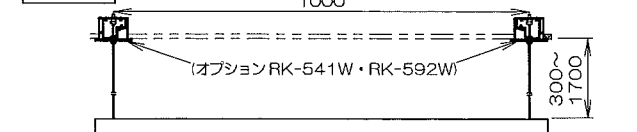


■連結取付

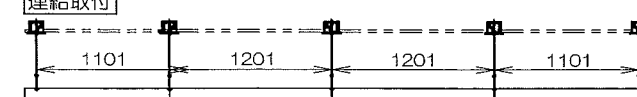


■ペンダントの場合

■単体取付



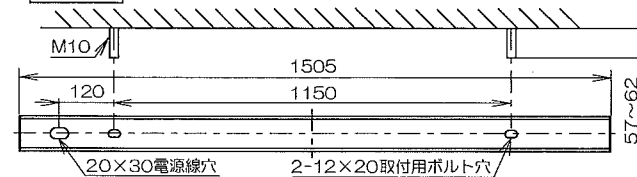
■連結取付



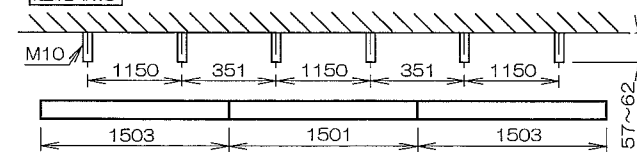
●ERK1070W, ERK1070B (L1500タイプ)

■直付の場合

■単体取付

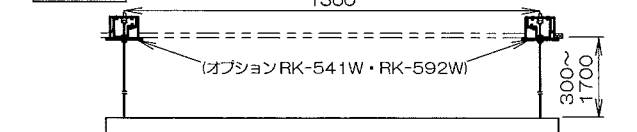


■連結取付

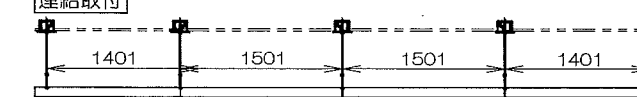


■ペンダントの場合

■単体取付



■連結取付



△ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

■清掃方法について

△ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のものでも拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

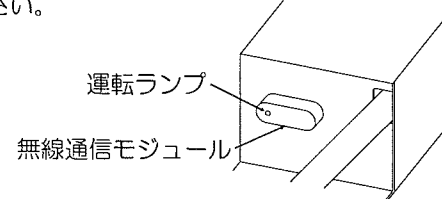
アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。

◆LED光源について

- LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- 照明器具とバーコードの読み取り位置が近すぎる場合は読み取りづらくなる場合があります。

◆調光・調色をする場合

- 各システムは最新バージョンでご使用ください。
 - 適合システム機器に関してはカタログをご参照ください。
 - その他の調光制御システム(旧Smart LEDZを含む)ではご使用できません。
 - 設置後、無線通信モジュールの運転ランプが青色に点灯しているのをご確認ください。
- ※通信距離は設置環境により異なる場合がありますのでご了承ください。



◆PWM信号制御方式の器具について(直付用)

- 調光した状態で、電源スイッチ(PWMライトコントローラーのスイッチ)を入り切りした場合、一旦明るくなった後に調光状態や消灯状態に移行する場合があります。
- 弊社指定の調光コントローラー以外で使用しないでください。
- PWM調光信号制御器(別売)で調光する場合は調光信号線(CPEV-1P/O.9)をPWM信号接続用コネクタ(ユニットに付属)と接続してください。

PWM信号接続用コネクタには極性はありません

◆適合LEDユニット(別売)

- 適合LEDユニットについてはカタログ、もしくは仕様図を参照ください。

◆取付方法

※両切りスイッチ、両切りブレーカーを使用してください。使用しない場合、消灯時にLEDが微小点灯する恐れがあります。

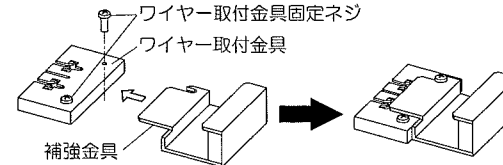
＜直付単体取付の場合＞

1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

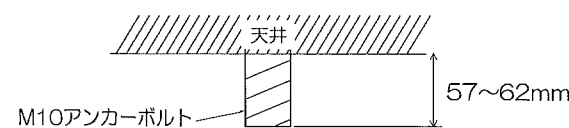
△ 感電の原因となります。

2. 器具重量に耐える様、天井の取付面の強度を確保してください。

- 指定の位置にアンカーボルトを施工してください。
- 取付用M10アンカーボルト、六角ナット、パネ座金、平座金は別途ご用意ください。
- 直付取付時は付属の補強金具を使用します。ワイヤ取付金具のネジを緩めてから、取付用ボルト穴付近までスライドさせ、補強金具を取付けてください。(2箇所)



- 本体の取付穴にアンカーボルトを通し、平座金、パネ座金、六角ナットで天井面に確実に取付けてください。

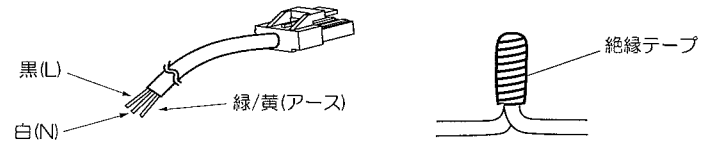


△ 本体を取付ける時、六角ナットを工具等で強く締めすぎると本体が変形する恐れがあります。

△ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下の原因となります。

3. 電源線・アース線と給電コネクタ(別売: RK-566N)1ヶを結線してください。

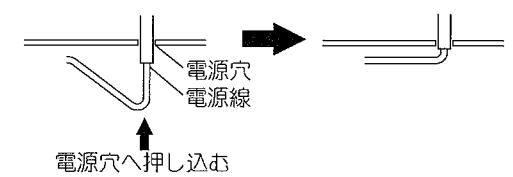
- 絶縁テープで確実に絶縁処理を行ってください。
- アース線はD種接地工事を行ってください。



△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

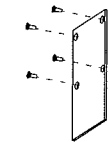
- 電源線は給電コネクタと結線後、LEDユニットとの干渉を防ぐため、電源穴へ押し込み、空間を確保してください。



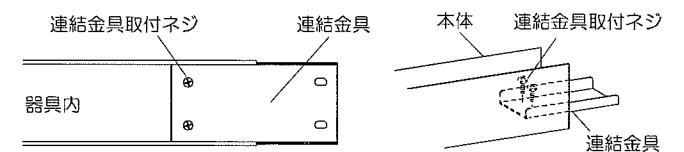
＜直付連結取付の場合＞

※一部の取付方法は＜直付単体取付の場合＞を参照してください。

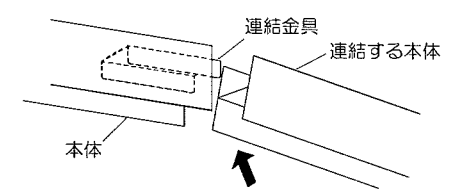
- 側板固定ネジ(4本)を外してください。



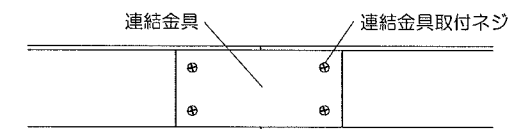
- 付属の連結金具を器具内へスライドさせ、連結金具取付ネジ(2本)を締め付けてください。



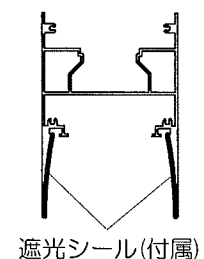
- 連結する本体を突き合わせて取り付けてください。



- 連結した側の連結金具取付ネジ(2本)を締め付けてください。

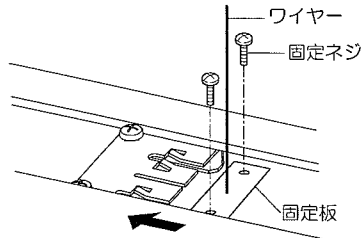


- 連結時、器具間に光がでる場合は、付属の遮光シールを本体内側に貼ってください。経年劣化でシールが剥がれる恐れがあります。定期的に点検してください。

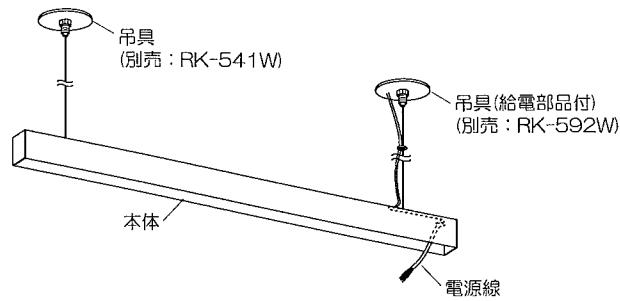


<ペンダント単体取付の場合>

- ※一部の取付方法は<直付単体取付の場合>を参照してください。
1. 別売の吊具(RK-592W, RK-541W)の取扱説明書を参照して吊具を取り付けてください。
 2. 吊具の固定板を本体のワイヤー取付金具に引っ掛けてください。
 3. 固定ネジで固定板とワイヤー取付金具を止めてください。



4. 給電部品付吊具(RK-592W:別売)の電源線を電源線穴に通してください。

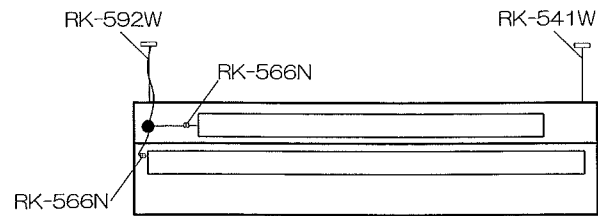


5. 電源線・アース線と給電コネクタ(別売:RK-566N)を結線してください。
 - 吊具の電源線・アース線の棒端子をカットし、電線をストリップしてください。(ストリップ長8mm)
 - ※給電コネクタ(別売:RK-566N)は下配光のみの場合1ヶ、上下配光の場合は2ヶ必要です。
 - 絶縁テープで確実に絶縁処理を行ってください。
 - アース線はD種接地工事を行ってください。

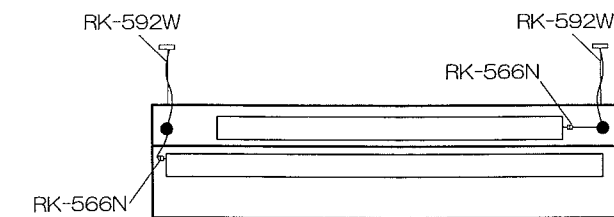
- ⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。
- ⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

- 電源線は給電コネクタと結線後、LEDユニットとの干渉を防ぐため、電源穴へ押し込み、空間を確保してください。

◆単体取付例(上下配光ユニット同系統の場合)



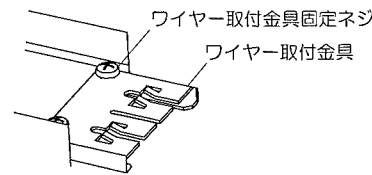
◆単体取付例(上下配光ユニット別系統の場合)



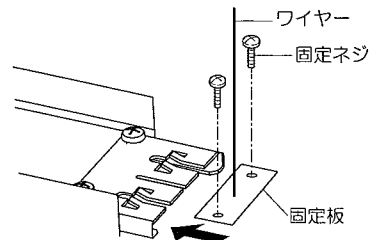
- 上下配光ユニットを別系統とする場合には吊具(RK-541W)ではなく、給電部品付吊具(RK-592W:別売)が必要です。

<ペンダント連結取付の場合>

- ※一部の取付方法は<直付連結取付の場合>・<ペンダント単体取付の場合>を参照してください。
- 側板固定ネジ(4本)を外してください。
 - ワイヤ取付金具固定ネジを緩め、ワイヤー取付金具を器具端まで移動させてください。

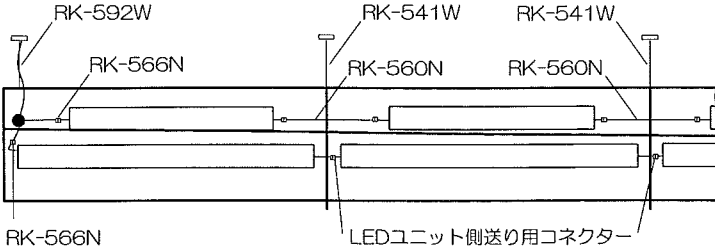


- 吊具の固定板をワイヤー取付金具に引っ掛けてください。
- 固定ネジで固定板と吊り金具を止めてください。

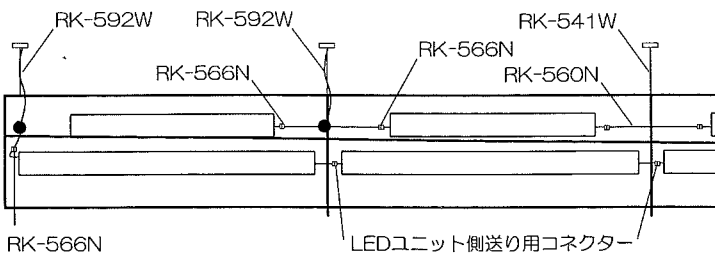


- 付属の連結金具を器具内へスライドさせ、連結金具取付ネジ(2本)を締め付けてください。
- 連結する本体を突き合わせて取り付けてください。
- 連結した側の連結金具取付ネジ(2本)を締め付けてください。
- 連結時、器具間に光がでる場合は、付属の遮光シールを本体内側に貼ってください。経年劣化でシールが剥がれる恐れがあります。定期的に点検してください。
- ※給電コネクタ(別売:RK-566N)は下配光のみの場合1ヶ、上下配光の場合は2ヶ必要です。
- ※上配光ユニットを連結接続するには送り配線コネクタ(RK-560N:別売)が必要です。ユニット接続数に応じた数量をご準備ください。

◆ペンダント取付例(上下配光ユニット同系統の場合)



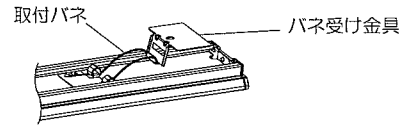
◆ペンダント取付例(上下配光ユニット別系統の場合)



- 上下配光利用時に連結する場合でかつ上下配光ユニットを別系統とする場合にはオプションの必要数が以下の通りとなります。
 - ・給電部品付吊具(RK-592W:別売): 2ヶ
 - ・吊具(RK-541W:別売): 接続台数による
 - ・給電コネクタ(RK-566N:別売): 3ヶ
 - ・送り配線コネクタ(RK-560N:別売): 接続台数による

◆LEDユニット取付方法

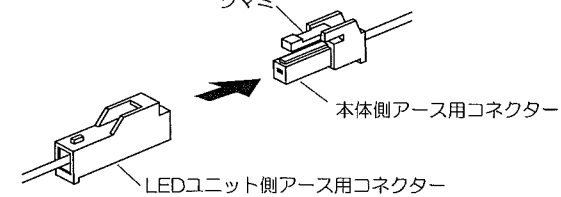
- LEDユニットには向きがあります。本体とLEDユニットのコンネクターの位置を合わせてください。
- LEDユニットに付いている取付パネ(2ヶ所)を本体のパネ受け金具に一旦引っ掛けてください。



- LEDユニット側と本体側の給電用コンネクターを確実に差し込み接続してください。



- LEDユニット側と本体側のアース用コンネクターを確実に差し込み接続してください。



<PWM調光タイプ>

- PWM調光信号コネクタ(入力)と電源穴から通したPWM調光信号線を確実に差し込み接続してください。



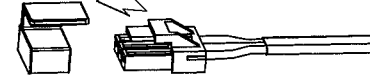
- ※上配光ユニットのアースコネクタは使用しません。

- LEDユニットを本体にセットしてください。

- ⚠ 接続不完全の場合、火災・漏電の原因となります。

<下配光ユニットの連結取付の場合>

- 送る側のLEDユニットの送り用コンネクターに付いているフタを取り外してください。



- 送る側のLEDユニットの送り用コンネクターと送られてくる側のLEDユニットの給電用コンネクターを確実に差し込み接続してください。

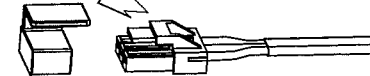
- PWM調光タイプの場合はPWM調光信号コネクタ(送り)とPWM調光信号コネクタ(入力)を確実に差し込み接続してください。

- LEDユニットを本体にセットしてください。

- ⚠ 接続不完全の場合、火災・漏電の原因となります。

<上配光ユニットの連結取付の場合>

- 送る側のLEDユニットの送り用コンネクターに付いているフタを取り外してください。



- 送る側のLEDユニットの送り用コンネクターと送られてくる側のLEDユニットの給電用コンネクターを別売の送り配線コネクタ(RK-560N:別売)で確実に接続してください。

- PWM調光タイプの場合はPWM調光信号コネクタ(送り)とPWM調光信号コネクタ(入力)を確実に差し込み接続してください。

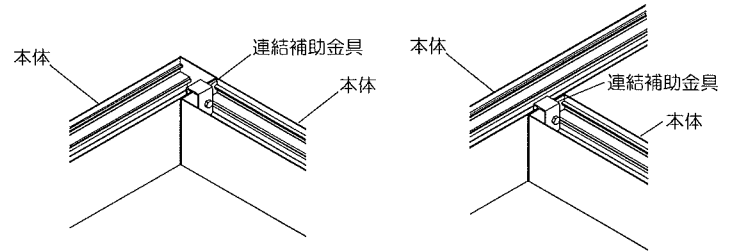
- LEDユニットを本体にセットしてください。

- 連結の際、LEDユニット間に隙間が発生します。隙間が均等になるように調整してください。

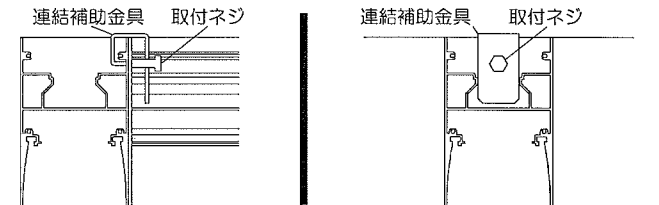
- ⚠ 接続不完全の場合、火災・漏電の原因となります。

◆連結補助金具 RB-728N(別売)取付方法

- ペンダント取付時、別売の連結補助金具(RB-728N)を使用することで、本体を連結することができます。



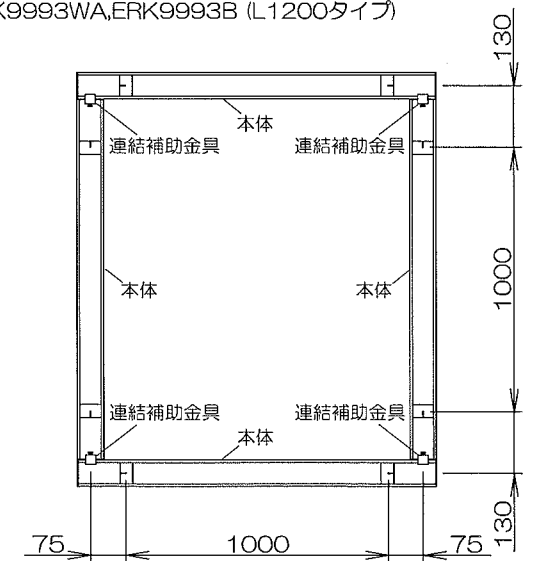
- 本体を突き合わせて連結補助金具を引っ掛け、取付ネジを締め付けてください。



- ⚠ 金具を取付ける時、取付ネジを工具等で強く締めすぎますと本体が変形する恐れがあります。

◆連結補助金具取付例

- ERK9993WA, ERK9993B (L1200タイプ)



- ERK1070W, ERK1070B (L1500タイプ)

